



両毛広域ネットワーク

両毛4市の各商工会議所会頭は、年頭にあたり、会員に向けて挨拶し、新年の事業方針を明らかにしています。

太田



加藤 正己 会頭

明けましておめでとうございます。

令和6年の新春を迎え両毛五市商工会議所の皆様方には改めて新年のお慶びを申し上げます。

昨年は依然として「コロナ感染症」の脅威はありましたが、「ビヨンドコロナ」の年と位置付け、経済活動の復興展開に尽力してまいりました。

幸い昨年度より地元自動車産業の生産活動が「コロナ」前の水準に戻り、会議所の諸活動も活発な1年となりました。

只今、自動車産業は「100年に一度」と言われる大変革期に対応し、各社が事業変革に取り組む時期でもあります。

また、会員事業所の足元では、依然として事業運営に関する各種課題が山積しています。

今年の太田商工会議所の重点活動として、会員事業所の課題解決のための「事業革新」を促進・支援することを重点にしています。

今後も皆様との連携を強化し、両毛地域の発展が展望できるようご祈念申し上げます。

足利



相馬 稔 会頭

明けましておめでとうございます。

コロナの5類以降、国内景気は全体的には上向きと言われていますが、円安の進行や諸物価の高騰、人材・人手不足など、地方を取り巻く経済環境は依然として厳しい状況です。また、インボイス制度や改正電子帳簿保存法などの新たな事務処理、働き方改革に伴う物流の24年問題など

時代の変化にも対応しなければなりません。

そこで今年も、時代の変革を見据えた「人づくり」「モノづくり」「まちづくり」の各事業に地道にかつ積極的に取り組んでまいります。「人づくり」では、足利流5S活動の一層の普及推進と6年ぶりとなる「5Sサミット」を開催、「モノづくり」では、第6回となる足利ブランドの展開、「まちづくり」では、市内交流人口、定住人口増加のための各種事業のブラッシュアップなど推進していく予定です。

結びに両毛5市商工会議所が一層連携を強めることで地域全体の活力と発展につながることをご期待申し上げ、新年の挨拶といたします。

桐生



棚山 和久 会頭

2024年の年頭にあたり、両毛五市商工会議所会員の皆様には新年の挨拶を申し上げます。

コロナ後の時代の転換期のなかで、デジタル化等による生産性の向上やイノベーション、事業再構築、脱炭素やGXへの取り組み、事業承継などの新たな課題は山積し、中小・小規模事業者の持続的な発展に向け、

商工会議所の役割はこれまでのどの時代にも増して大きく、役員・議員や行政をはじめ関係団体、諸機関との緊密な連携・協力のもと、オール桐生で産業界を盛り上げ、発展させていくことが重要です。

就任以来掲げている3つのビジョン①会員増強2,100会員の達成と組織力強化②めざせ小さな世界都市③桐生のまち全体のブランド化—に引き続き取り組みます。

両毛地域の新しい未来を切り開くために、五市商工会議所が連携して力を結集し、様々な課題を克服していきたいと思っております。五市商工会議所のますますの交流強化を願い、2024年が皆様の限りない発展につながる年になりますことを祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。

佐野



吉澤 慎太郎 会頭

両毛五市商工会議所会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

さて、三年に亘るコロナ感染症に対する行動制限が撤廃され、少しずつコロナ前の状況に戻ってまいりました。

一方、人手不足や原材料・仕入価格、更にエネルギー価格の上昇などにより、中小企業・小規模事業者にとっては、依然として厳しい状況が続いています。

先月公表された管内の商工業者数は4,133事業所であり5年前と比べ4.4%減少しています。この様に商工業者が減少する中では、特に創業支援や事業承継支援が重要であり、関係機関と連携しながら更に強化します。

本年も中小企業・小規模事業者にとっては、依然として厳しいことが予想されますが、地域経済の活性化、ひいては佐野市の輝かしい未来の実現のため、全力を挙げて取り組んで参ります。

結びに、皆様のご健勝と企業の御発展、そして、令和6年が幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。